



\\ こんにちは //

No.129
令和7年8月

豊前市議会 です



第100回九州市議会議長会定期総会(4月24日)

CONTENTS 目次

4月 臨時会 (4/23)

6月 定例会 (6/2 ~ 6/18) 主な内容

議案の概要・各委員会・一部事務組合議会議員 2~3P

令和7年4月臨時会・6月定例会議案審議結果 4P

一般質問 5~11P

トピックス・編集後記 12P

\\ 議会へのご意見をお寄せください /

発行 /

豊前市議会 (豊前市大字吉木955)

TEL 82-8137 (直通)

ホームページ /

[https://www.city.](https://www.city.buzen.lg.jp)

[buzen.lg.jp](https://www.city.buzen.lg.jp)



議案の概要

第2回臨時会

令和7年第2回臨時会は、4月23日の1日間の会期で開催されました。

市長より補正予算1件が提出されました。総務委員会で審査され、原案どおり承認されました。

また、豊前市議会議員補欠選挙に伴い、各委員会の選任・一部事務組合議会議員の選挙がありました。

第3回定例会

令和7年第3回定例会は、6月2日から6月18日までの17日間の会期で開催されました。

市長より条例案件3件、補正予算3件、その他案件1件、報告案件4件の合計11件が提出されました。

各委員会で慎重に審査した結果、原案どおり可決・承認されました。なお、議案第34号・第35号については反対討論がありました。

最終日には、市長より人事

案件2件が提案され、原案どおり、同意されました。

同意案件

市長からの提案に対し、全会一致で同意しました。

■公平委員会委員

豊前市大字八屋

中野 和俊

■固定資産評価審査委員会委員

豊前市大字三楽

濱田 秀文

選挙関係

指名推薦により選出されました。
(敬称略)

■上毛町外一市一町

矢方池土木組合議会議員

豊前市大字二毛門

鈴木 浩二

豊前市大字三毛門

不動 猛雄

豊前市大字六郎

吉永 新一

豊前市大字市丸

植田 文法

豊前市大字三楽

篠原 孝仁

豊前市大字久路土

有延 新一

総務委員会の申し入れ事項

副市長を選任する場合は、部長制を含む組織の在り方を検討し、議会に説明を行うよう努めること。
以上、申し入れました。

豊前市大字高田 高橋 俊行
豊前市大字皆毛 有吉 次夫
豊前市大字堀立 川原田 康雄
豊前市大字岸井 松本 勝博
豊前市大字小石原 行平 裕通
豊前市大字広瀬 川上 義文

《令和7年度一般会計補正予算の概要》

令和7年第3回定例会「令和7年度一般会計補正予算(第1号)」の審査を行いました。各常任委員会では、予算の細部にわたり執行部に質問や指摘などを行い、慎重に審査しました。

【議案第38号】 令和7年度豊前市一般会計補正予算(第1号)

国庫補助事業及び県補助事業に係る経費、その他特に措置する必要がある経費について、可決しました。

《主な事業》

◇低所得者支援及び定額減税補足給付金事業	36,968千円
◇病児保育事業費	1,550千円
◇地域子育て支援センター費	3,508千円
◇環境衛生費(空き家調査業務委託料)	7,700千円
◇地域脱炭素移行・再エネ推進事業	87,716千円
◇総合交流促進施設整備事業	42,746千円
◇住宅管理費(遊具設置工事)	6,075千円
◇消防施設費(消防自動車購入費)	20,148千円
◇災害対策費(マンホールトイレ実施設計委託料)	1,961千円
◇中学校自転車通学用ヘルメット購入費補助金	300千円
◇ほ場整備(三毛門北部地区)発掘調査事業	33,595千円

補欠選挙により

各委員会・ 一部事務組合議会議員の 構成が変わりました

豊前市議会議員補欠選挙において宇都宮正博議員が当選されました。それに伴い各委員会・一部事務組合議会議員の構成が一部変更となりました

新人議員紹介



議席番号: 1番
氏 名: 宇都宮正博
住 所: 八屋
党 派: 無所属
所属会派: 無会派

常 任 委 員 会 構 成

◎……委員長 ○……副委員長

総務委員会(7人)

◎ 内丸 伸一
○ 増田 泰造
爪丸 雄太
渡辺 美智子
村上 勝二
為藤 直美
郡司掛八千代

文教厚生委員会(7人)

◎ 梅丸 晃
○ 為藤 直美
爪丸 雄太
渡辺 美智子
増田 泰造
平田 精一
岡本 清靖

産業建設委員会(7人)

◎ 秋成 英人
○ 梅丸 晃
宇都宮正博
爪丸 雄太
内丸 伸一
郡司掛八千代
福井 昌文

議会運営委員会(6人)

◎ 為藤 直美
○ 村上 勝二
渡辺 美智子
梅丸 晃
内丸 伸一
秋成 英人



特 別 委 員 会 構 成

企業誘致特別委員会(7人)

◎ 岡本 清靖 梅丸 晃
○ 福井 昌文 秋成 英人
宇都宮正博 平田 精一
爪丸 雄太

豊前開発環境エネルギー株式会社調査特別委員会(7人)

◎ 平田 精一 為藤 直美
○ 郡司掛八千代 内丸 伸一
増田 泰造 岡本 清靖
村上 勝二

一部事務組合議会議員

一部事務組合名	構成市町村	議 員 氏 名	定 数 ()は豊前市の定数
京築広域市町村圏事務組合	・豊前市 ・みやこ町・築上町 ・吉富町・上毛町	・秋成英人・平田精一 ・福井昌文・岡本清靖	10人(4人)
豊前市外二町清掃施設組合	・豊前市・吉富町 ・上毛町	・宇都宮正博・爪丸雄太・梅丸晃 ・内丸伸一・秋成英人 ・福井昌文・岡本清靖	15人(7人)

令和7年4月臨時会 議案審議結果

「○」… 賛成

「●」… 反対

「議長」… 議長職のため表決に参加しない

議案 番号	議 案 等 の 名 称	審議 結果	宇 都 宮 正 博	爪 丸 雄 太	渡 辺 美 智 子	増 田 泰 造	梅 丸 晃	村 上 勝 二	為 藤 直 美	内 丸 伸 一	秋 成 英 人	郡 司 掛 八 千 代	平 田 精 一	福 井 昌 文	岡 本 清 靖	賛 成	反 対
議 案 第32号	専決処分について（令和6年度豊前市一般会計補正予算 第12号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0

令和7年6月定例会 議案審議結果

議案 番号	議 案 等 の 名 称	審議 結果	宇 都 宮 正 博	爪 丸 雄 太	渡 辺 美 智 子	増 田 泰 造	梅 丸 晃	村 上 勝 二	為 藤 直 美	内 丸 伸 一	秋 成 英 人	郡 司 掛 八 千 代	平 田 精 一	福 井 昌 文	岡 本 清 靖	賛 成	反 対
議 案 第33号	豊前市副市長定数条例の制定について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議 案 第34号	専決処分について（豊前市税条例の一部改正につ いて）	承認	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	11	1
議 案 第35号	専決処分について（豊前市国民健康保険税条例の一 部改正について）	承認	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	11	1
議 案 第36号	辺地総合整備計画の変更について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議 案 第37号	専決処分について（令和7年度豊前市国民健康保 険事業特別会計補正予算 第1号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議 案 第38号	令和7年度豊前市一般会計補正予算（第1号）	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議 案 第39号	令和7年度豊前市バス事業特別会計補正予算（第 1号）	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
同意案 第1号	豊前市公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
同意案 第2号	豊前市固定資産評価審査委員会委員の選任につ いて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0



議長
岡本 清靖



副議長
福井 昌文

議会からのお知らせ

議事運営上

議長・副議長は、原則として一般質問を行いません。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無会派』の一般質問

(爪丸雄太議員)

- ① 地域活性化
- ②ゲーミフィケーション



(梅丸晃議員)

自治体DXの推進

- ① DX推進計画書
- ② スマートな市役所
- ③ スマートな業務・効率化
- ④ IT研修・ITパスポート
- ⑤ DX推進、組織の基盤整備



(宇都宮正博議員)

- ① 学校再編問題
- ② 豊前市の財政問題
- ③ 集落墓地の管理



(村上勝二議員)

- ① 非核・恒久平和都市宣言
- ② 深刻な物価高騰と夏の猛暑から市民の命と健康を守るために
- ③ 生活保護行政



(為藤直美議員)

- ① 人口増に向けた取り組み
- ② 環境問題
- ③ スポーツと文化振興



(増田泰造議員)

- ① こども見守り隊
- ② こども食堂
- ③ リチウムイオン電池



(渡辺美智子議員)

- ① 持続可能な子育て支援体制の構築に向けて
- ② 子供たちを取り巻く教育現場と今後の教育
- ③ 第三セクター
- ④ 行政の情報管理体制



(郡司掛八千代議員)

- ① これからの豊前市の取り組み



市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

QRコードから
一般質問の動画を
ご覧になれます。



※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

ゲーミフィケーションについて



爪丸 雄太

爪丸議員 ゲーミフィケーションとは、ゲームを本来の目的としないサービス等にゲーム要素を応用して、利用者の意欲の向上とロイヤリティの強化を図ることを指す。ゲーム要素とは、アイテムの獲得やレベルアップなど、利用者同士の競争のように利用者を

楽しませて熱中させる要素のことである。これを活用した地域振興の実例として、山形県西川町の健康増進アプリがある。これは、謎解きゲームを楽しめる仕掛け等、健康増進に楽しく取り組む工夫がされている。福岡県ではふくおか健康ポイントアプリがあり、豊前市の高齢者にも利用していただきたいと思うが、スマートフォンの取り扱いに不慣れな方もいると思われる。市が行っている高齢者向けスマホ

教室の現状について伺う。

デジタル化推進室長 これまで、ICTを活用した介護予防事業の一環としてスマートフォン事業を実施しており、令和7年度は30回以上の開催を計画している。

爪丸議員 今後もスマホ教室を継続し、高齢者の不安感を取り除いていただきたい。またスマホ教室の際、ふくおか健康ポイントアプリの推奨もお願いしたいが、執行部の考えは。

デジタル化推進室長 スマホ教室においては、健康増進の観点もあるので、アプリの活用等も盛り込んでいきたいと考えている。

爪丸議員 豊前市のデジタル支援に対する意気込みとゲーミフィケーションを活用した地域振興について、市長の考えを伺う。

市長 デジタル社会に誰一人取り残さない豊前市をつくっていくことで、効果的な行政サービスを行えると思う。デジタル社会を推進していくうえで、ゲーミフィケーションは非常に効

果的な手段だと思うが、どういうやり方が、効果的な取組なのか、高齢者のスキルアップにつながるのか研究したい。

爪丸議員 ゲーミフィケーションを活用した教育として、鉄道会社の社長となり、日本全国を巡るゲームを紹介したい。このゲーム内では、駅名や特産品など、社会科の授業に活用できると思われるが、授業への導入について、教育長の考えを伺う。

教育長 ゲーミフィケーションの考え方は、今の子どもたちにとって欠かせない要素のひとつだと認識している。議員の提案について、先生方の意見を聞きながら、活用の方法を探っていききたい。

爪丸議員 子どもたちの学習へのモチベーション向上のためにも、ゲーミフィケーションを教育現場で導入していただけるようお願いする。

果的な手段だと思うが、どういうやり方が、効果的な取組なのか、高齢者のスキルアップにつながるのか研究したい。

自治体DXの推進について



梅丸 晃

梅丸議員 DX化を進めるにあたり、組織の基盤整備が必要ではないかと考える。DX推進本部を立ち

上げ、市長を本部長に据え、本部はDX推進室とし、各課にDX推進職員を任命し、課長が各課のDX取組み等のヒアリングをして本部に提案し、予算等の決裁を行って計画的に進めていく。DXを推進するにあたり組織基盤が整っていないと、技術の導入だけではDXは成功しないと考えているが、総務部長の考えをお聞きます。

総務部長 システムの標準化を最優先に取り組んでいるが、DXの推進は進めな

いといけないので、できる限り早い段階で推進計画の策定に取り組んでいきたい。技術の導入だけではなく、推進体制を整備することで、DX推進の目的を達成

するよう、努めていきたい。

梅丸議員 計画的なDX推進は、持続可能な自治体運営を実現し、市民にとってより便利で安心な社会を築くことである。これまでの質問のように、まずはDX推進計画や組織の基盤整備等、首長として全庁的に市民サービスの向上・職員の業務効率化をス

ピード感をもって取り組んで頂きたいと考えるが、市長の考えを伺う。

市長 DX化・スマート化というのは、我々行政サービスを行っていくうえで、必ず推進していかなければならないと思っており、またスピード感を持ってやらなければならぬと思っ

ている。特に我々がしていかなければならないのは、住民に対する施策をつくり、それを市民サービスに反映していくことだと思っ

というのもあると思うので、そういったものを見極めながら早急にやっていくことが大切だと思っているので、尽力していきたい。

梅丸議員 首長が本気で動かない限り、自治体DXは進まないと考えている。DXの目的と方向性を明確にして、自ら旗を振って推進し、前例主義から脱却し、職員の挑戦を評価する文化を育て、縦割りを越え、部門を横断する取組を促し、デジタル人材の登用や予算確保を主導し、他自治体とのデジタルの広域連携や民間との連携となる共通基盤の活用を推進し、そして市民サービス改善の成果を示し、理解と共創を図って頂きたい。市長がDXの推進は必要だと思っ

て頂けたのなら、所信表明でも言われた、スピード感をもって迅速に対応して頂くことをお願いする。



学校再編問題について



宇都宮 正博

宇都宮議員 設計内容の見直しについて、契約後であっても必要であれば部材や設備の変更、追加などは柔軟に対応できるのか。

教育部長 総合的に検討を行い、見直しを図っていくことも可能と考える。

宇都宮議員 2024年問題で、建設業界においても残業規制等が適用となる。また、資材や設備の入手難など、工事では様々なリスクがある。今後の工程管理の考え方について伺う。

教育部長 タイトなスケジュールだとは思いますが、関係部署と連携を取りながら全力で取り組む。

宇都宮議員 建設費及びこれに係る地方債、並びに一般財源について、どれほどの節減効果が見込めるのか。

財務課長 建設費は6634万2400円の減額、地方債の節減効果としては4690万円、一般財源の節減効果は1487万100円となっている。

いよう、最大限に努力と支援をしながら引越し等を行っていききたい。

宇都宮議員 再編小学校の整備計画について、想定以上に児童・生徒数が減っているため1年先延ばしし、学校の規模も含めて再検討することだが、市長は若者に選ばれる豊前市に向けた施策を打ち出しており、その効果により将来予測も変わるのではないかと。学校再編についての市長の考えを伺う。

市長 地域に選ばれる、近隣からも選ばれるナンバーワンの学校をつくっていくとともに、ハード面・ソフト面の両方を充実させていくことが、次世代につながる。豊前市になると考える。また、豊前市を選んでもらえるよう、全ての世代に対する支援・施策を打っていくために、できる努力をしなければならぬ。そのためにも起債額を減らし、継続した支援を行っていききたい。



生活保護行政について



村上 勝二

村上議員 国が2013年〜15年に実施した生活保護基準引き下げは、憲法第25条の生存権保障に違反するとして、全国の保護利用者が国や自治体を相手に闘う「いのちのとりで裁判」は、原告だけでなく、国民全体の暮らしに関わる問題である。群馬県桐生市では、健康で文化的な最低限度の生活を保障する生活保護制度が根底からゆがめられたとして問題になっている。保護申請を受け付けられない水際作戦や、ハローワークの窓口で書類に印鑑を押してもらい、千円札をはだかで手渡しする、警察官OBを配置した威圧的な対応、生活保護のハードルを上げる扶養照会等が行われ、保護率が激減している。そこで、豊前市の生活保護行政はどうしているのか、お聞きする。

福祉課長 福祉課保護係は、高齢者の相談窓口である地域包括支援センターや子ども家庭センターなどと連携し、相談対応を行っている。また、生活困窮者自立相談支援センターを市社会福祉協議会に委託し、情報共有を行いスピーディーかつ確実な対応を心がけている。相談者が的確に内容を伝えられない場合、同意を得て同行者と一緒話を聞いている。警察OBは連携支援員として困難なケースに同行訪問をしている。相談面接には、社会福祉士とケースワーカーが同席して対応している。

福祉課長 桐生市の問題は想像ができないような事務を行っており、ショックな事件と感じている。今後も相談者の身になって丁寧に、また権利侵害につながることをないように努めていきたい。

市長 やはり共助という観点から、生活保護は受けなければならぬ方には、しっかりと受けてもらいたい。その中で権利として広く周知し、行政サービスを行っていかなければならぬ。

村上議員 誰しもが生活保護を受ける可能性はある。そのときに最後のセーフティーネットとして訴えたときに、このような対応をされたときには、もう人間としての尊厳も断ち切られることになってしまいかねないと思っている。そこで提案だが、この生活保護制度の名称を変えて、福祉の抜本的充実をしてもらいたい。



スポーツと文化振興について



為藤 直美

れるよう、トップアスリートを招いたスポーツ教室を開催している。

為藤議員 教育機関や地域との連携について、学校

為藤議員 国でスポーツ基本計画が策定され、各自治体でもスポーツの持つ多面的な価値が再認識されている。豊前市においては、

少子高齢化や施設の老朽化、活動への参加機会の偏りなどの課題が散見される。一方で、自然環境や地域に根差したスポーツ活動の基盤も存在し、これらの可能性を引き出し、誰もが年齢・性別・障がいの有無に関係なく気楽に楽しむこと、そして環境の整備が大切であると感じる。豊前市におけるスポーツ振興の現状を伺う。

生涯学習課長 豊前市では子どもから高齢者まで、生涯にわたりスポーツ活動に参加できるよう環境づくりに取り組んでおり、二つの総合型スポーツクラブの活動を支援している。また、小中学生が高い技術に触れら

活動を増やしていきたい。最終的に組織をつくっていくという3段階で地域展開を目指していくことを考えている。

為藤議員 具体的な組織をつくるにあたって、常に意見を交わしながら、子どもたちの部活動の環境を守っていただきたい。全国で活躍している豊前市出身の選手も、幼いころは豊前市で育ち、頑張ってきた。子供の頃からの環境は大人がつくっていくことが必要である。今後のスポーツの推進、取組について、市長に伺う。

市長 学校で教えることができなくなったマナーや集団生活での活動は、クラブ活動に力を貸してもらうことが多々あると思うので、スポーツを子どもだけではなく大人にも広げていくことが重要だと思う。地域との連携も受け皿を作っていくことが、必要だと思うので尽力していく。

為藤議員 新市長には、子育てしやすい、働き、暮らせるわがまちの実現をお願いする。

こども見守り隊について



増田 泰造

増田議員 こども見守り隊について、豊前市見守り隊が発足した年・経緯・目的の3点について、分かる範囲でお聞きする。

学校教育課長 登下校時の見守り隊は、区長会や地域づくり協議会の働き掛けにより、地域ボランティアとして発足したが、発足年度や経緯の詳細は把握できていない状況である。

増田議員 市内の見守り隊員数と活動状況について、お聞きする。

学校教育課長 隊員数は地域によつて様々で、入れ替わりがあり把握できていない。活動は主に公民館長や区長会長が世話役となり、学校と連絡を取りながら見守り場所や時間帯、見守り方法などを隊員に伝えている。

増田議員 見守り隊は、各自治会に委ねているのは

承知している。あくまでもボランティアなので強制力はなく、隊員の方々は、志と使命感を持って日々の任務に臨まれている。市内の公民館に、有事対応マニュアルがあるのか尋ねたところ、学校にはあるが見守り隊用として作成していない、あっても公民館の引き出しに保管している状態だった。有事の時は、初動の対応が非常に重要になることから、見守り隊用に常に携帯できるポケットサイズの有事対応マニュアルを市で作成すべきと考えるが、いかがか。

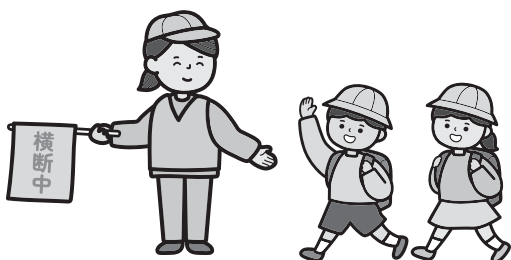
教育長 安全・安心確保のため見守り隊の役割は非常に大きく、今後も継続してもらいたいと思っている。各学校や地域の方々の同意と共感を得て発足した経緯があるため、教育委員会が一括して把握したり、その活動を整理・指導している状況ではない。ただ、メンバーの入れ替わりがあるため、決め事や共通理解が徹底されないことがあると思う。緊急時の連絡手順な

どは必要だと思うので、マニュアルについては、カード化して携帯できるものを準備する方向で、学校と相談してみたい。

増田議員 市長はこの件について、どう考えているのか、お聞きする。

市長 まずは、見守り隊の皆様方に御礼を申し上げる。隊員の入れ替わりがあることから、緊急時にはある程度、マニュアル化されていること、想定外の事態に対応できるものでないといけないと思う。携帯できるサイズが必要ということが分かったので、今後協議をし、どのようなかたちが良いのか検討したい。

増田議員 ぜひ検討をお願いする。



持続可能な子育て支援体制の構築に向けて



渡辺 美智子

源の開拓が必要。豊前市子ども・子育て支援事業計画（第3期）を策定しており、庁内、庁外の関係機関と連携・協力をいただきその内容について実行していく。

渡辺議員 「静かなる有事」といわれる少子化が加速をしている。豊前市においても同様に少子化が進行する中、地域における子育ての環境整備と支援の強化は、人口減少への歯止めをかけると共に子供たちの健全な育成を保障する上で極めて重要と考える。妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援対策についての課題や、その対応を伺う。

福祉課長 豊前市子ども家庭センターは、妊産婦・子ども・子育て中の全ての家庭へ切れ目のない相談・支援を一体的に行うことを目的に令和6年4月に設置された。これにより母子保健部門と児童福祉部門をつなぎ、より丁寧な連携を強化した支援体制を行うことができる。また、新たな子育て支援として、社会資

自治体との格差が子育て世代の流出につながり懸念材料となっていた。子育て世代の経済的負担軽減を図るため、給食費無償化は極めて重要と考える。小中学校における現在の給食費はいくらか。

学校教育課長 小学校では5000円から5500円、中学校では6000円から6500円を徴収している。

次に経済的支援、医療費の高校生まで補助対象とする今後の見通しについて伺いたい。

市民課長 本市の子ども医療費支援制度については、現在、中学生までの助成となっているが、市長の所信表明もあり18歳までの医療費助成制度を実施することは必要と考えている。制度を実施するためのシステム標準化、事前の整備事業などあるので優先順位を設け準備を進めていきたい。

渡辺議員 豊前市では、今まで子育て世代への支援が非常に希薄であり、近隣

これからの豊前市の取り組みについて



郡司掛 八千代

郡司掛議員 豊前市に現在居住している外国人のうち、特定技能者・技能実習生の人数および国籍について、把握できる範囲で伺いたい。

商工観光課長 特定技能制度は2019年開始で、特定の産業分野において即戦力の外国人材受入を可能にした。令和7年5月末時点で、特定技能者70名、技能実習生268名、特定技能者、技能実習生ごとの国籍は、集計できなかった。

郡司掛議員 特定技能者には1号・2号がある。特定技能2号は在留期間に上限がなく、更新を重ねれば永住も可能であるが、それぞれの人数を伺う。

商工観光課長 豊前市の特定技能者70名全員が1号であり、熟練技能者向けの2号に該当する外国人は、現在のところ市内には

在住していない。

郡司掛議員 築上館跡地で外国人介護人材育成を始めるという。その概要と、育成した人材が豊前市の介護施設に就職できるシステム等の構築がされているか伺う。

商工観光課長 本年10月に介護人材育成、その後は製造業等の外国人技能研修所として開業予定である。豊前市での事業所等が派遣要請を行えば、人材派遣が可能で、既に事業所には、事業の概要説明を行っているという。

郡司掛議員 介護や企業の人材不足に対応し、商工会議所と連携した人材確保の取組を行っているか。

商工観光課長 毎年1回、11月に合同企業説明会を開催し、対面で説明を実施している。近年参加者が少なく、近々参加者が少なくなっており、福祉事業者の拡大やオンライン説明会も現在検討している。商工会議所と市内のものづくり企業が連携して、大学や高校生を対象とした見学会や合同企業説明会等で、

人材確保、就労支援を行っている。

郡司掛議員 人材確保には、企業の魅力づくりが必要になる。企業（行政）これから就職する高校生などの要望等を聞き取り、次につなげることも大事ではないかと思う。より良い説明会になる努力をお願いする。さらに少子化が進むと、特定の産業によって、外国人労働者の活躍が必要不可欠となる。これからは単に外国人労働者としてではなく、私たちの地域社会の主體的な活動に参加できるよう、多言語表記など、行政として必要な支援体制を整備し、全ての人が安全に安心して暮らせる地域になるように取り組んでいただきたい。



一般質問

そこが聞きたい
なんとかしたい

『新世清友会』の一般質問



平田 精一



福井 昌文



内丸 伸一



秋成 英人

(秋成英人議員)

- ① 学校再編
- ② 市の事業の見直し
- ③ 学校の跡地活用
- ④ 病児・病後児保育
- ⑤ 給食費
- (内丸伸一議員)
- ⑥ 安心・安全なまちづくり
- ⑦ 移住・定住対策
- ⑧ 市政
- (平田精一議員)
- ⑨ 広域の連携
- ⑩ 一次産業
- ⑪ 区長、自治会の今後の問題点



市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

QRコードから
一般質問の動画を
ご覧になれます。



※ここに掲載している
質問のやり取りは、
ごく一部です。
※文末の表記について
は、実際のやり取り
とは異なり、「です」
ます調」ではなく、
「だ・である調」に統
一しております。
詳細については、市
のホームページに全
文を掲載しています
ので、そちらをご覧
ください。
また、議会事務局及
び総務課に会議録を
置いておりますの
で、お気軽にご閲覧
ください。

市の事業の見直しについて

秋成議員 市の事業の見直しは、財政運営をしていく中で重要だと考える。現在、市全体の事業をどのよう

にチェックし、評価しているのか。また、事業をチェックする担当課があるのか、教えていただきたい。

総務部長 一つは、行財政改革推進プランで、5年ごとに策定するものである。このプランは、議決事項であり、議会で審議していた

だ。9月議会では、評価検証したものを報告している。もう一つが、中期事業計画であり、各所属から財政部局に書類を出し、ヒアリング・査定を行い、財政計画を立てている。

秋成議員 時代が変われば、新しい事業を行う必要性が出てくると思う。既存の事業を見直さずに続けると、事業は増えるばかりだが、その点、どう思うか。

市長 何かをするときは何かをやめなければならぬという基本的な考え方をもち、必要のないものに見切りをつけることも必要だ

と思う。外部の意見をどうやって入れていくか検討し、財源を見直す必要があると思う。

秋成議員 他の自治体では、法的義務のない事業をゼロベースで見直すため、法律・会計など、外部有識者の意見をもらうところもあるようだ。豊前市にもそういった取組が必要と思うが、執行部の考えは。

総務部長 他の自治体に有効な手法があれば、取り入れるべきところは、取り入れていくべきではないかと考えている。

秋成議員 法的義務のない事業をやめ、予算を削減するときに、財政的に苦しいという理由では、市民は納得しないと思う。内部での見直しは当然だが、行政とは違う外部有識者の意見をもとに協議し、見直した理由を公表することも効果的手段の一つと考えるが、どう思うか。

総務部長 有識者・専門家の意見を取り入れると、客観的で市民目線、専門的な角度からの評価・検証とい

うところは、期待できる。一方で地域性、事業の経過、重要性、優先順位は、外部の視点だと欠けるのではないかと懸念もある。有効にシステムを取り入れ、しっかりと財政運営をしているところもあるので、参照しながら、取り入れていきたい。

秋成議員 今後どのように事業をしていくのか、既存の事業については、どのように見直していくのか、よく整理する必要があると考えるが、いかがか。

総務部長 事業の必要性を検証しながらスクラップ・アンド・ビルドしなければならぬのは当然だが、そのためには、評価・検証の仕組みを見直し、効率的なものにしていくことが一番重要である。

秋成議員 取組の経過や成果については、今後、確認させていただく。



移住・定住対策について

内丸議員 移住・定住対策として、新婚家庭の家賃補助や給食費の補助、高校生までの医療費補助など、子育て世代への様々な対策について市長の考えを伺う。

市長 豊前市でも行っている事業はあるが、制度が使いにくい、使う方が限定されている、ということが多々あったと思っている。まずは近隣に揃えたうえで豊前市独自の魅力を検討しなければならぬと思う。特に若い方の支援は今後継続し、使いやすく、豊前市に住みたいと思えるものに変更するよう検討中である。

内丸議員 今の件で、市長の考えを伺う。

教育長 子育てと教育は一貫だと思うので、教育につながる子育てサービスで明らかに見劣りすることは避けるべきであるし、そうしていただきたい。

内丸議員 質の高い教育を受けさせるために、しっかりとした対策をとっていただきたい。豊前市を選

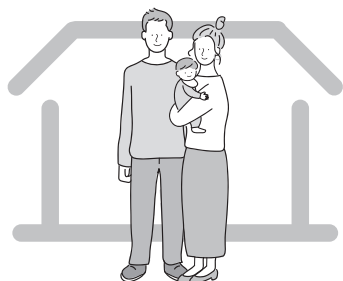
んでくれた新築家庭へ、ありがとうという気持ちを表すために、補助などが必要と考えるが、いかがか。

総務部長 現在、一定の要件下で新築住宅に充てた豊前市定住促進補助金を運用しているが、この数年十分に活用されていないことから、子育て支援、定住促進という観点で効果的なものに見直していくと、市長より指示をいただいております。より有効な施策に見直したいと考えている。

内丸議員 ぜひ条件の緩和、そしてPRをしつかり、豊前市に家を建ててもらえるよう取り組んでいただきたい。

次に、不妊治療を行っている家庭に対し、現在では保険の適用や先進医療の補助などがあるが、田川市のように一歩踏み込んだ不妊治療の助成を行っているかどうか。豊前市に住んで子どもを育てたいという家庭の力になる制度なので、前向きな検討をお願いしたい。

健康長寿推進課長 令和



4年4月から特定不妊治療が保険適用となり、先進医療は全額自費だが一部は県が助成している。経済的負担を軽減するため、豊前市でも行えればよいが、財源を伴うため、今後の課題とさせていただきたい。

内丸議員 子どもが欲しいという家庭、豊前市で産んで育てていきたいという方がいれば、どうにか費用を捻出してもらいたいと思うが、市長、いかがか。

市長 自分も不妊治療を行い子どもができたけれども、こういった悩みを抱える方は多くいると思う。財源もあるが、そういう方々のために検討させていただきたい。

内丸議員 ぜひ、お願いする。

一次産業について

平田議員 一次産業の農業についてお伺いします。豊前市において、兼業農家は何戸くらいあるのか。

農林水産課長 直近の2020年の農林業センサスでは、専業別の調査を廃止しており、把握できないが、2015年の農林業センサスによると、販売農家714戸のうち、兼業農家数は419戸、約59%となっている。

平田議員 兼業農家数が50%を超え、かなり多いが、今言われているのが、大型農業である。今後、このままいけば、兼業農家も離農が進む方向性が高く、離農すると環境整備ができなくなる。田んぼダムなどは水害防止に役立っていると思うので、兼業農家の援助をやってもらいたいが、どういった援助があるのか。

産業建設部長 市及び県、国においても、兼業農家に対する補助等の確認は現時点ではできていない。

平田議員 できるだけ情報収集し、農家の方に役立

つような補助があれば、どんどん教えていただきたい。

次に、豊前市の今の地産地消は、どうなっているか。

農林水産課長 豊前産品活用宣言店登録制度を運用し、証明シールを貼り地場産品を明示することで、地産地消の推奨を図っている。農産物のみならず、加工品も含まれている。

平田議員 地場産を学校給食に使ったらどうかという話をしたが、なかなか難しいということであった。どういう理由なのか。

産業建設部長 学校給食では子どもの安全が第一になり、第2点として、生徒数や給食回数に対し必要量が確保できず、ロットが集まらないことがある。

平田議員 次に農家にとって一番悩まされているのが有害鳥獣問題だと思う。有害鳥獣が増えることによって一番影響を受けるのが、耕作放棄地の増加である。中山間地域では、農地に防護柵をしないとけないが、以前設置された防

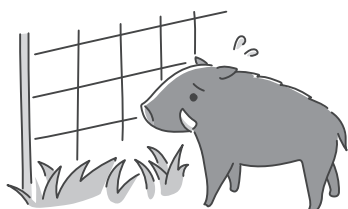
護柵の老朽化がみられる。防護柵等への補助は行っていないのか。

農林水産課長 一般単独事業で豊前市猪等被害防御対策事業があるが、補助要件に3戸以上、概ね1ヘクタール以上の農振農用地が必要であり、ハードルが高く、取り組みができていない。

平田議員 相談に行ってもこの条件を言つと、ほとんどの人が帰ってしまう。この条件を少しでも緩和できれば、農家も助かると思うが、その点いかがか。

農林水産課長 中山間地域では、耕作面積要件が厳しいと考えるため、要件緩和が可能かどうか研究していきたい。

平田議員 鹿・猪が市街地まで進出してきている。罠でどんどん捕ってもらえるようにお願いしたい。



第101回全国市議会議長会定期総会



第101回全国市議会議長会定期総会

令和7年5月20日、全国市議会議長会定期総会が東京国際フォーラムで開催され、岡本議長が出席しました。九州市議会議長会からは「九州における高速交通網等の整備促進について」他2議案、会長提出の決議案など計32の要望・決議案を可決しました。

総会では坊会長が、全国の地方自治体では厳しい経済・社会状況の中、福祉・医療サービスの充実、防災・減災対策の推進、こども・子育て政策の強化などの取組を進めていくには、地方自治体の安定的な財政運営に必要となる地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保が不可欠であると訴えました。

議会事務局からのお知らせ

政治家の寄附の禁止(公職選挙法第199条の2第1項、第2項)
豊前市議会は、初盆参り等については、法令遵守をいたします。

編集後記

今年は、太平洋戦争終結、広島・長崎被爆80年の節目の年です。

現在、放送しているNHKの朝ドラ「あんぱん」は、漫画家やなせたかしさんの戦争体験から、「正義は、ある日突然逆転する」「飢えることが一番つらい」「正義の味方なら、最初に飢える人を助けること」とアンパンマン創作の原点が語られています。

1984年3月、豊前市は「非核・恒久平和都市宣言」を市議会にて採択し、その記念碑は市役所の入口に建っていますが、平和を発信する自治体として、今後もその役割を果たしてもらいたい。

村上 勝二

次回の定例市議会は
9月です

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。
みなさんの傍聴をお待ちしています。
また、本会議については、インターネット中継
をしております。

- 編集 編集委員会
委員長：梅丸晃
副委員長：渡辺美智子
委員：爪丸雄太 増田泰造
村上勝二

- 印刷 築上印刷株式会社